

法人（事業所）理念		ファミリー・キッズでは、お子様、ご家族お一人おひとりに寄り添い、スモールステップで、小さな「できた！」を、みんなで一緒に喜び ★自己価値「感」★が芽生えるような支援を心がけております。 【 知に学び、友に遊び、共に育み、ともに生きる 】	
支援方針		子ども一人ひとりの特性や個性を尊重し、各領域での支援を通じて、健やかな発達と社会性の向上を目指します。 日常生活の中で、子どもたちが自分のペースで成長できるよう、「楽しみながら成長ができること」を第一に支援を提供します。 私たちの目指すのは、ただの支援に留まらず、子どもたちが「できること」を一つ一つ増やし、自信を持てるような環境を作り出して支援を行います。	
営業時間		放デイ/（登校日）10：00-18：00（休校日）9：30-16：30	児発/9：00-15：00
		送迎の実績	有
		学校・ご自宅	送迎
本人支援	健康・生活	この領域では、子どもたちの健康を支え、生活習慣を身につけるための活動を行います。・毎日の体調確認として検温や手洗い・うがいをし、健康状態に異常がないかをチェックして、ご本人も意識できるようにしています。また、定期的に水分補給を促し、熱中症予防や風邪予防のための指導を行っています。・食育の支援として様々な形態や味の食べ物を食べる経験を積んだり、自分で食事がとれるように成長に合わせてスプーン・フォーク、箸等を使った練習を行っています。・生活習慣の定着として整理整頓や服の着替え、片付けを一緒にし、段階的に出来る事を増やして自立を促しています。	
	運動・感覚	この領域では、身体の発達や感覚を刺激する活動を行います。・ラダーやトランポリン、スプリングボード等感覚調整遊具を通して、姿勢や運動動作の基本の習得、身体能力の向上、協調性、バランス感覚や体力を高めます。・音や触覚、視覚などの感覚を使った活動を行い（音に合わせてダンス、？ボックス、アハ体験、何の音？等）感覚の発達を促します。・創作活動では工作を通して感覚刺激をし、微細運動の習得と感覚過敏の緩和を目指しています。	
	認知・行動	この領域では、認知能力や行動のコントロールを育む活動を行います。・パズルやカードゲームを通じて認知力を高め、順番を守る練習や集中力を養います。・社会的ルールを学ぶゲームでは、ボードゲームやおもちゃを使って社会的ルールを理解し、日常生活に必要な基本的なルールを身につける練習をします。・行動の予測と調整を学び、トラブルが発生したときの対処方法や冷静になる方法をシミュレーションを通じて学びます。	
	言語コミュニケーション	この領域では、言語能力やコミュニケーションスキルを向上させる活動を行います。・自分の思いや要求の相手への伝え方など場面や相手の状況に応じた適切なやり取りを促します。・挨拶や簡単な質問を練習し、自己紹介や好きなことを話すことで会話スキルを育みます。・絵カードやイラストを用いて、自分の気持ちや考えを伝える練習を行い、ピクチャーカードを使って物の名前や場所を覚えます。・ロールプレイでは、異なるシチュエーションを模擬し、日常的なコミュニケーションスキルを身につけます。	
	人間関係社会性	この領域では、他者との関わり方や社会性を学ぶ活動を行います。・グループで協力して作業をすることで協調性を養い、集団で行う運動プログラムやゲームを通じて順番を守ることや協力の重要性を学びます。・役割を持つ活動では、社会の中で自分の役割を意識し、困っている人を助けることや感謝の気持ちを伝えることを学びます。・友達とのトラブルを解決する方法や感情をうまく伝える方法を練習します。・社会資源の場を活用して交通ルール（電車等）や公共のマナーに関する知識を養ったり、駄菓子屋さん体験等の疑似体験を通して物やお金の価値を学びます。	
家族支援 きょうだいへの支援	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者向けの相談・支援、きょうだい児に関する相談等プログラム ・育児に関する相談等面談を通し家庭でできる支援の提案とアドバイス 	主な行事等	季節行事；お誕生日会、夏祭り、ハロウィン、クリスマス会、初詣等の実施 食育活動；季節の野菜や果物の収穫と調理の実施
移行支援	<ul style="list-style-type: none"> ・小・中・高校や保育園・幼稚園との連携 ・就学準備プログラムの実施 ・進路相談と関係機関との調整 		
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の子育て支援機関との連携や地域イベントへの参加・共催 ・ボランティアや実習生の受け入れ 		
職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な研修・勉強会の開催 ・専門機関との連携によるスキル向上 ・スタッフ同士のケースカンファレンスの実施 		